

委員会会議録

(社)滋賀県トラック協会

会議名	第6回「トラックの日」の事業実行委員会
開催日時	平成20年6月17日(火) 13:15~15:45
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3F「研修室1」
出席者	委員10名、事務局3名

協議内容

開会にあたり竹備委員長からあいさつがあった後、引続いて、岡田副委員長議事進行により協議に入った。

(1)平成20年度事業計画策定について

事務局より資料1、2に基づき前回実行委員会のまとめやメイン事業の予算案について説明があった。

続いて、岡田副委員長からメイン事業について資料に基づき出席者に意見を求めたところ次の意見があった。

- ・ びわ湖一周ということであるが、ぐるっと一周という意味ではなく地域によってはエリアを定めてゴミ拾いを行ってはどうか。
- ・ 同様にぐるっと一周するのではなく、エリア毎で行いびわ湖一周としてはどうか。
- ・ 支部毎にエリアを決めてはどうか。
- ・ エリアは各支部が決めるのではなく、メイン事業班が決めてはどうか。
- ・ ゴミ拾いは、道路の両側の歩道と道路の一部(歩道から手の届く範囲30cm程度)を行ってはどうか。
- ・ やはり道路使用許可を取った方が良いのではないか。
- ・ 数キロ毎のポイント、ポイントで人(班)の配置をしスタートしてはどうか。

- ・ 9時に支部単位で集合し、セレモニー、人の配置、ゴミ拾いスタート、ゴミ拾い終了、終了セレモニー、ゴミ収集といった流れで行ってはどうか。

その他、ネーミングについて意見があったが、再度メイン事業班で検討し、頭に「トラックの日」という文字を付けることとなった。

続いて、各事業部別で会議を行った。

各事業部会議終了後、班長及び委員から次により報告があった。

〔メイン事業〕

坂口班長から次により報告があった。

- ・ ネーミングについて前段であった意見も踏まえ次の意見・案があったが、読み上げるだけではイメージが湧かないので活字にしたうえで次回実行委員会に提案し決定することとなった。

- ・ トラックの日 びわ湖一周 トラククリーン
- ・ トラックの日 ぐるっと びわ湖 クリーンウォーキング
- ・ トラックの日 クリーンアップウォーキング イン レイクロード
- ・ トラックの日 クリーンアップウォーキング イン びわ湖路
- ・ トラックの日 ぐるっと びわ湖 クリーンアップ
- ・ トラックの日 びわ湖一周 クリーンアップウォーキング
- ・ トラックの日 レイクロード クリーンUP 大作戦
- ・ トラックの日 びわ湖一周 クリーンアップ作戦
- ・ トラックの日 湖周道路 クリーンアップ作戦
- ・ トラックの日 ぐるっと 湖周道路 クリーンアップ作戦
- ・ トラックの日 ごみ一掃作戦 イン びわ湖

- ・ びわ湖一周の意味は、各エリアを足してびわ湖一周とする。
- ・ ゴミ拾いのエリアは各支部が決めるのではなく、メイン事業班が意見を出し当実行委員会で決定する。
- ・ 各支部の動員目標数は、次回実行委員会で検討していきたい。
- ・ 道路の両側に歩道がある場合は両側、両側に歩道がない場合は片一方とする。

- ・ 道路使用許可を得る。
- ・ リサイクルを考えたゴミ収集方法で行う。
- ・ 各ゴミ処理場への持込みはそれぞれの市の窓口申請する。
拾ったゴミは拾ったところのゴミ処理場で処理する。
- ・ ゴミは一端駐車場等に集め、収集用のトラックに積み込む。
- ・ のぼり旗を作成しPRしていく。
- ・ 参加記念品は、当日着用するキャップもしくはサンバイザー、滋賀県トラック協会もしくは事業のネーミング等を入れたエコバック、ペットボトルのお茶とする。

〔エコドライブ事業〕

外村委員から次により報告があった。

- ・ 内容は、「エコドライブ」と「セーフティドライブ」部門を分けずに、一本のコンテストとして実施し認定する。
- ・ 実施日は、9月15日（月・敬老の日）とする。
- ・ タイムスケジュールは、9時受付、9時30分から16時30分とする。
先に運転試験を行い、後で筆記試験を行う。
運転試験は一人それぞれの部門で10分とする。
- ・ 審査は厳しく行う。
- ・ コンテストに係る費用は、コース（会場）貸切代金50万円、インストラクター50万円、車両使用料30万円、計130万円が必要となるが、受験料の支払いとして1名換算にすると少し安くなるので、今後クレフィール湖東と折衝していく。

〔広報事業〕

田中委員から次により報告があった。

- ・ テレビへのアプローチは、びわ湖放送、NHK大津の夕方の番組に各事業の放送をしてもらえるように要請する。

- ・ 新聞社へのアプローチについては、各事業の取材要請やプレス発表を行う。
その他、「トラックの日」の新聞広告も予算を勘案のうえ行いたい。
- ・ 県行政の対応については、県担当官への内容説明及び協力要請を行う。また、県の広報誌等に掲載してもらえるように働きかける。
- ・ 標語の募集については、「エコ」一本に絞る。
一般紙にて募集を行う。
表彰式を行い、その際作品掲示も行う。
- ・ 「トラックの日」の事業についての趣意書を作り、各協力依頼先にアプローチする。
- ・ 予算については、広報予算130万円の中で割振りして検討していきたい。

以上の報告があり、これらを受けて次の意見があった。

〔メイン事業について〕

- ・ 特にリサイクル出来るゴミは県下一つにまとめて写真に撮り、記録に残してはどうか。
その後、リサイクル業者に引き取ってもらえれば良いのではないか。
- ・ 県環境課では県下一斉清掃等こういった場合どうしているのか？又ゴミをどう処理しているのか？処理した後は、例えば、車椅子に換えて寄付しているのか？など確認することとなった。
- ・ 県環境課にも協力を依頼すべきである。

〔全体の事業について〕

- ・ それぞれの事業の発表の場について前回実行委員会でも意見が出たが、エコ（セーフティ）ドライブコンテストの表彰式は例年9月後半に行われる「交通事故防止総決起大会」で、メイン事業は例年11月に行われる「物流セミナー」の場で行ってはどうか、との意見が出、今後行われる関係するそれぞれの専門委員会で意見を聞くこととなった。
- ・ 「物流セミナー」でもし内容が決まっていなければ、出来れば環境対策のテーマで実施してもらえれば、このメイン事業の発表がしやすくなるのではないか。
- ・ それぞれ報告書を作ってはどうか。

最後に岡田副委員長から、メイン事業のネーミングについて次回実行委員会で決定するということであるが、もし他に意見があればそれまでに事務局宛連絡をお願いしたいと述べた。

次回委員会

日 時 平成20年7月7日(月) 13時30分～16時頃

場 所 滋賀県トラック総合会館